

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">日本仏教史</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部日文 2 回生 教育教福 2 回生          文学部英米 2 回生          文学部教福 2 回生          文学部文財 2 回生          文学部コミ 2 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">梯 信暁</p>
<p>授業テーマ</p> <p>古代・中世日本仏教の展開</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>6 世紀以降、日本の文化は、なんらかのかたちで仏教の影響をうけてきました。さまざまな思想・信仰と習合して日本人の習俗・習慣を形成してゆくとともに、個人の尊厳を自覚させるという機能をもはたしました。日本文化の基底をなす各時代の宗教思潮を求めるとめざしつつ、日本仏教の進展を支えた先達者達の業績にも触れたいと思います。【前期】は、仏教伝来から平安時代までを概観します。八宗体制の成立とその根底をなす思潮について考えたいと思います。【後期】は、鎌倉新仏教がテーマです。何が「新」なのかという問題意識をもちつつ、法然・親鸞・道元・日蓮らの宗祖の思想を紹介します。</p>		
<p>評価方法</p> <p>期末レポート (80%)・出席状況 (20%)</p>		
<p>テキスト</p> <p>『日本の宗教』</p>	<p>著者</p> <p>堀一郎</p>	<p>出版社</p> <p>大明堂</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) オリエンテーション：講義の目標と内容の概説</li> <li>(2) 仏教の伝来</li> <li>(3) 聖徳太子</li> <li>(4) 国家仏教の展開</li> <li>(5) 国分寺と東大寺</li> <li>(6) 最澄と天台宗</li> <li>(7) 空海と真言宗</li> <li>(8) 平安仏教の密教化</li> <li>(9) 験者の活動</li> <li>(10) 念仏の流伝</li> <li>(11) 貴族の信仰</li> <li>(12) 地獄と極楽の思想</li> <li>(13) 神仏習合</li> <li>(14) 聖の活動</li> <li>(15) 末法思想</li> <li>(16) 中世の胎動</li> <li>(17) 顕密体制論</li> <li>(18) 法然①：法然の生涯</li> <li>(19) 法然②：法然の廻心</li> <li>(20) 法然③：選択本願念仏の思想</li> <li>(21) 親鸞①：親鸞の生涯</li> <li>(22) 親鸞②：親鸞の廻心</li> <li>(23) 親鸞③：教行信証の思想</li> <li>(24) 禅の思想と栄西</li> <li>(25) 道元の生涯</li> <li>(26) 道元の思想</li> <li>(27) 日蓮の生涯</li> <li>(28) 日蓮の思想</li> <li>(29) 一遍の生涯と思想</li> <li>(30) まとめ</li> </ol>		